



精密検査受診者に朗報!! プラーカ健康増進センターで 大腸CT検査が 始まりました

※大腸CT検査でドーナツの形をした機器の中に入っていったところ。頭上に技師さんが見守ってくれています。

医学協会の早期発見の取り組み

『大腸CT検査の導入』

今年度4月より、当会のプラーカ健康増進センターに、「大腸CT検査」が導入されました。

今までの大腸注腸検査は、下剤で腸内を空っぽにし、造影剤(バリウム)を注入して、エックス線撮影を行っていました。この度の「大腸CT検査」は、炭酸ガスを注入し、64列マルチスライスCTを使用した“新しい”大腸がん検査です。

まず、大腸がん検診の現状について、当会の実績も含め、説明させていただきます。

大腸がんの罹患率・死亡率は増加傾向にあり、部位別の死亡数は肺がんに次ぐ第2位で、男性では第3位、女性では第1位です。(2014人口動態統計)

大腸がん検診の深刻な課題として、忘れてならないのは、精密検査の低い受診率です。国立がん研究センターHPでは、受診率55%(平成19年度)とあります。

当会の実績を確認しますと、人間ドックからの精密検査受診率は、平成25年が約58%、平成26・27年とも約44%と大変低い状況です。ここで、注目いただきたいのは、がんの発見数です。精密検査の受診者の中から、3%~5%というかなり高い確率でがんが見つかっています。

そして、精密検査を受けずに放置した状態の方が、おおよそ半数いらっしゃいます。単純計算で、ほぼ同数のがんが放置されているという事になります。このことを思えば、ぜひ精密検査を受けていただきたいと強く思います。

表1

大腸がん精密検査結果		H27	H26	H25
要精検者数		2,687	2,715	3,154
精検受診者数		1,194	1,201	1,826
精検受診率		44.4%	44.2%	57.9%
結果	大腸がん	41	61	58
	早期	28	46	38
	進行	12	11	16
	不明	1	4	4
	ポリープ 他	692	709	763
異常なし		461	431	1,005
がん発見数/精検受診者数		3.4%	5.1%	3.2%

<医学協会の人間ドック 平成25~27年>

「大腸CT検査」のすすめ

当会では、64列マルチスライスCT装置を使用した、苦痛や痛みの少ない大腸がん検査を行います。

高速撮影・高画質の検査が可能で、最新の低被ばく技術を採用しています。大腸を炭酸ガスで拡張させ、マルチスライスCTで撮影し、3次元画像を作成、処理した後、診断します。

2016年・国立がん研究センター公表 大腸がんの死亡率は女性で1位!!

なぜか?

その理由は、検診(便潜血反応検査)でたとえ陽性になっても、内視鏡検査での「痛い、苦しい、恥ずかしい」がトラウマとなり、精密検査を放置している方が多くいらっしゃるからです。便から潜血反応がでたら、精度が高く、苦痛の少ない大腸CT検査がおすすめです。



低被ばく、短時間、痛みほとんどなしの上、細やかな気配りでサポートされる身体に優しく、精神的にも楽な検査です。

身体への負担が少ない最新の検査が 『大腸CT検査』

「大腸CT」とは、炭酸ガスを肛門から注入し、拡張させた大腸をCT装置で撮影する検査で、内視鏡検査と大きく違う点は、苦痛がほとんどないという点で、身体に優しい検査です。また、術後の腸管癒着で内視鏡が挿入しにくい場合におすすめできる検査でもあります。

内視鏡検査との違い 4つのメリット

- ① 検査前に大量の下剤を飲まなくてOK。
- ② 15分程度の短時間ですみます。
- ③ 炭酸ガスは体に吸収されやすいので、検査後の不快感が少ない。
- ④ 腹部全体を撮影するので、大腸以外の臓器の情報も把握できます。

便からの潜血反応を放置していませんか? 便潜血反応検査で陽性になったら、即受診!

「痛い・苦しい・恥ずかしい」で言い表される「大腸内視鏡検査」と比較して、「大腸CT検査」の特徴をご説明します。

(1) 体への負担が少ない

- ① リスクが少ない・・・内視鏡を挿入しないので、大腸を破ることがありません
- ② 苦痛が少ない・・・チューブを深く挿入しません。また、検査前の大量の下剤は不要です。
検査前の大量の水分摂取も不要です。
- ③ 短時間の検査(15分程度)
- ④ 検査後の不快感が少ない・・・炭酸ガスは、体に吸収しやすく、検査後の日常生活や仕事に支障をきたすことはありません。

(2) 最新の3D-CT

- ① 3次元的に観察できるため、大腸の全体像や病変の形状を正確に把握することが可能です。
- ② 腹部全体を撮影するため、大腸以外の他の臓器の情報も把握可能となります。

以上のように、最新鋭の検査であり、苦痛や痛みが少ない「大腸CT検査」は、受けやすい検査と言えます。当会では、便潜血検査から精密検査を必要とされたのに放置している方が多くいる現状を重く受け止め、この検査の導入に踏み切りました。一人でも多くの対象者の方にご受診いただければ、もっと多くの早期大腸がんを発見できると考えます。

企画部企画課 鈴木貴幸
プラーカ健康増進センター 富田美千子・海津比呂史

検査料金(下記料金は検査食代を含みます)

単独での検査 30,240円

ドックオプション検査 27,000円

精密検査は保険診療で実施します。

お申し込み・お問い合わせ

精密検査・医事課 025-370-1945

オプション検査・プラーカ 025-247-4101